淑徳大学　大学院

総合福祉研究科

graduate school of integrated human and social welfare studies

- 社会福祉学専攻　博士前期課程
- 心理学専攻　修士課程
- 社会福祉学専攻　博士後期課程

SHUKUTOKU

他者を生かす知を、多様な仲間とともに学ぶ

柏女　霊峰 特任教授　　松山　美紀さん　　結城　康博 教授

ひとつ判るとわからないことが十倍に増える。その繰り返し。

松山　介護現場で働いた後、福祉系専門学校の教員になりました。大学院での研究テーマは、「介護現場における新人指導」についてです。若い介護職員の早期離職に問題意識を持っていました。介護サービスの質を高める手がかりは、サービスを提供する人の問題にあると漠然と考えていました。しかし、経験を頼りに試行錯誤するばかりで、有効な解決策を見出すことはできず、そんなモヤモヤを解消したくて、大学院に進学したのです。

結城　指導を担当しましたが、松山さんは実務や教育の経験があって、専門知識は持っていますから、それらを俯瞰して体系的に結びつけて考えるようにアドバイスしたと思います。同じように、専門学校や短期大学を卒業後、福祉や保育の現場を経て教壇に立っている方々が、修士の学位をめざして入学するケースがあります。本学は通常の２年制課程の他に、３年制長期履修コース[＊1]を設けて、専門学校・短期大学卒の社会人の方々も受け入れています。

柏女　松山さんは私の授業を履修してくれたことがありましたね。私は子ども家庭福祉が専門ですが、松山さんがいてくれたので介護の問題と比較しながらディスカッションでき、とても刺激になりました。

松山　皆さん専門職をめざしたり経験したりしていますから、多くの気づきがあって、本当にありがたい環境でした。

柏女　院生には、学部を卒業してすぐに大学院に入学する方と、松山さんのように現場で仕事をしていて問題意識を持ち、その解決を求めて入学する高度専門職志向の方がいます。いずれにせよ、門戸を広く開いて、しっかり教育していくというスタンスが本学の大きな特徴です。

結城　そうですね。特に社会人に対しては、時間割もある程度柔軟に組めるようにして、学びやすいようにできる限り配慮しています。松山さん、学んだ感想はいかがでしたか？

松山　一番は、自分が知らないことの多さに驚いたことでしょうか。先生方や院生たちとの出会いや学びを通して、一つわかるとわからないことが十倍に増えるという繰り返しでした。多様な方々とともに学べる環境だからこそ、多角的に考える姿勢が身に付いたと思います。

建学の精神「利他共生」を、深く、縦横に紡いでいく

結城　ところで、松山さんが本学を選んだ理由はなんですか？

松山　建学の精神に強く惹かれたからです。「他者に生かされ他者を生かし　共に生きる」という「利他共生」のスピリットと、「感恩奉仕」という心のあり方です。そういう学び方や姿勢に、深く感銘を受けました。なにより先生方の一人ひとりに対する親身なご指導に、建学の精神があらわれています。実は、修士論文の締切間際に、年末年始にも関わらず１週間にわたり結城先生にご指導いただいたんです（笑）。

結城　私も本学の出身者ですから、建学の精神を深く理解してくれていることは嬉しいですね。もちろん、松山さんが特別ではなく、どの院生とも分け隔てなく接しています。

松山　先生方のご指導が手厚いので、単位の取得で困っている人を見たことがないです。

柏女　本学は自校教育がしっかり行われています。私もゼミ訓として「自分を大切に生きよう」「人を大切に生きよう」「精一杯生きようと」という三つを掲げています。そういう伝統が脈々と受け継がれているのが本学の強みです。建学の精神をよく理解した方々が、大学院で研究を深めていただけると、ご自身や社会にとって非常に意味ある実践になると思います。

結城　本学の卒業生は、年代を問わず、福祉や保育、心理などの現場で数多く活躍されています。その縦のつながりはもちろんのこと、職場や地域で人脈を広げて、横のつながりから淑徳で学んでみたいという方が増えたら素晴らしいですね。

総合福祉研究科の将来

結城　私が指導している院生たちは、地域福祉、障がい者福祉、医療など、さまざまなテーマに取り組んでいます。福祉の領域は幅広いのです。その点で、社会の変化や課題に敏感に対応した教育を提供していかなければと思っています。

柏女　総合福祉研究科は今後、「福祉政策経営研究」「保育・療育研究」「ソーシャルワーク研究」「仏教国際福祉研究」の４つの分野に再構築して展開していきたいと構想しています。中でも、保育の領域が強化されることは時代の要請に応えた試みと言えるでしょう。保育をはじめ、子どもの福祉に関する問題は社会的に注目を集めており、大きな転換期を迎えています。本学には保育士養成の実績があり、保育の現場にいる卒業生の方々の期待に応えられるよう大学院の教育体制をいっそう充実させていきます。

結城　４分野に整理することで、院生にとっても進むべき道筋が見えやすくなるのではないかと思います。福祉に関するテーマは、全般的に網羅しています。加えて、これまで敷居の高いイメージがあった博士後期課程もよりわかりやすい形にして活性化を図っていきます。教育を重層化することによって、院生の自分を生かす学びの機会を広げていきたいと考えています。

柏女　大学院を志す皆さんに期待することは多々あります。例えば保育で言えば、現状、理念、仕組みや制度、具体的な援助方法といったアプローチがあります。研究では一つの分野を突き詰めていくことになりますが、それらを俯瞰する視点も大切にしてほしいのです。大学院では、まずは研究の作法をしっかり学ぶことが必要です。

松山　人の心の豊かさに触れることができるのが福祉の仕事の魅力だと思います。一方で、人に関わるだけに難しく、これからも正解を探して悩み続けるでしょう。しかし、大学院で学ぶことによって、求めていた正解や知識だけにどどまらず、期待以上の収穫がありました。例えば、社会に出ると、批判を受ける機会はあまりありません。しかし、大学院ではさまざまな意見に触れ、それによって知識の深まりを実感しました。生き方そのものが変わる可能性も秘めています。

結城　私たちの大学院が、研究領域、教育システム、将来の可能性など、さまざまな面で大きな広がりを持っていることがおわかりいただけたのではないかと思います。さらに、発達臨床研究センターや心理臨床センター[＊2]など実践の場も充実しています。これらが協働し、他者を生かす知、社会に貢献するための知を創出しているのです。皆さんとともに学び、共生社会の実現に向けて新たな一歩を踏み出すことを楽しみにしています。

＊１　社会人大学院生、留学生を対象に２年間の専修をあらかじめ修業期間を３年間と設定し、履修・単位取得するコースです。
＊２　発達臨床研究センター、心理臨床センターは千葉キャンパス内に設置されている研究・実習施設です。

総合福祉研究科　社会福祉学専攻
柏女　霊峰 特任教授
厚生労働省児童家庭局企画課、児童福祉専門官を経て、本学教授。『子ども家庭福祉学序説』など、著作多数。

総合福祉研究科　社会福祉学専攻前期課程　修了生
松山　美紀さん
国際医療福祉大学　専任講師　介護福祉士／介護支援専門員　介護施設に従事したのち、専門学校の講師として後進の育成に携わる。その傍ら本学の社会福祉専攻で学位を取得し現職。

総合福祉研究科　社会福祉学専攻
結城　康博 教授（専攻主任）
専攻は社会保障論、社会福祉学。特別支援学校教員、東京都の公務員を経て、本学教授。近著に『介護職がいなくなる』（岩波ブックレット）などがある。

在学生の声

総合福祉研究科　社会福祉学専攻博士前期課程

田　智超さん

淑徳大学の協定校である中国吉林省・長春人文学院（大学）で２年間学び、総合福祉学部社会福祉学科３年次に編入学。専門性を深めるため大学院進学を選ぶ。将来は母国で公務員をめざす。

中国でも高齢化が進んでいますが、日本のようにすべての国民を対象にした公的年金制度はありません。特に農村部の高齢者の貧困が問題になっています。そのため、日本の制度や施策を研究し、中国における対応策を見出すことが私の目標です。具体的には日本の公的年金制度の変遷を検証しながら、高齢者の生活観の歴史的調査を行っています。

人と福祉に対してまっすぐな人たちと共に学ぶ楽しさ

淑徳大学は半世紀にわたり社会福祉の研究や実践をリードしてきた実績があります。私の指導教授は社会保障制度が専門で、研究業績に加え、行政の現場での経験もあります。学部生のときに先生の著書を夢中になって読み、研究の面白さをますます実感しました。
実務経験者の院生の先輩からは、福祉の専門知識や現状について詳しく教えていただきました。人や社会の幸せを真摯に考える先生方や院生との学びはとても楽しいです。

アジアの世界の人々が手を取り合って、豊かな未来へ

現在、日本以外の国の社会保障制度の研究も始めています。博士後期課程にも進学予定です。淑徳大学には「アジア国際社会福祉研究所」があり、国際的な学術交流も積極的です。山積する社会課題を一つの国や地域の力だけで解決することはできません。淑徳の一員として、日本や母国、世界のために貢献していきたいです。

社会福祉学専攻博士前期課程カリキュラム（2023年度）

授業科目名		選択・必修の別
共通科目	社会福祉学特論	必修
	社会福祉研究方法特論Ⅰ	必修
	社会福祉研究倫理特論	必修
	社会福祉研究英語特論	選択
専修科目	福祉医療政策特論（新設）	選択
	福祉経営学特論（新設）	選択
	ソーシャルワーク特論	選択
	スーパービジョン特論	選択
	保育学特論（新設）	選択
	臨床発達心理学特論※（心理学専攻共通科目）	選択
	発達臨床の理論と実践特論（新設）	選択

授業科目名		選択・必修の別
専修科目	仏教社会福祉特論	選択
	国際社会福祉特論	選択
	障害児・者福祉特論	選択
	社会福祉研究方法特論Ⅱ	選択
	法律学特論（新設）	選択
	地域共生福祉特論（新設）	選択
	子ども家庭福祉特論	選択
	低所得者福祉特論（新設）	選択
	高齢者福祉特論	選択
	保健医療福祉特論（新設）	選択

授業科目名		選択・必修の別
実践科目	福祉・医療臨床実践学（新設）	選択
	子育て・保育相談支援実践学（新設）	選択
	ソーシャルワーク実践学（新設）	選択
	療育実践実習Ⅰ（新設）※	選択
	療育実践実習Ⅱ（新設）※	選択
	療育実践実習Ⅲ（新設）※	選択
	療育実践実習Ⅳ（新設）※	選択
研究科目	社会福祉研究指導	必修

※臨床発達心理士取得科目

修了生の声

総合福祉研究科　心理学専攻修士課程（2022年3月）修了
総合福祉研究科附属 心理臨床センター勤務

伊田　瑠美奈さん

心理職をめざし、淑徳大学 総合福祉学部実践心理学科に入学。オープンキャンパススタッフの方々の優しさ、検査や実験などの実践的な授業のすべてが魅力的に感じた。

大学院進学を決める際にも、先生方や仲間にとてもお世話になりました。研究計画書のために選んだテーマは「夫婦間の子育ての協力について」です。学部ゼミの先生からは分野が多領域にまたがるため、いろいろな先生方の意見も聞くように助言されました。すると、訪ねた先生方が自分のゼミ生のように親身になって接してくださり、これが福祉のこころ、淑徳のこころの本質ではないかと思いました。
大学院を修了し、現在は大学院 総合福祉研究科附属心理臨床センターに勤務しています。大学院時代にも同センターで実習させていただきました。資格や技術を身に付けるだけでなく、福祉のベースがあったからこそ、生きた「実学」として非常に意味ある学びになりました。

他者を受けとめるために、自分と徹底的に向き合う

実学とは、他者のために自分を活かす学びです。心理職として価値観が異なる他者を理解するためには、まず自分自身と徹底的に向き合うことが求められます。自分が大切にしている価値観はなにか、心理職としての課題はなにか、大学院の授業や議論を通して、ほかの院生たちの意見にも触れながら、徹底的に考え抜きました。すべての学びが、「人を支える」とはどういうことかを考える貴重な経験になったと思います。

手を差しのべるだけではなく、伴走できる心理職に

心理職は優しく寄り添ってくれる人というイメージでしたが、大学院では多くの新たな気づきがありました。科学的、客観的な視点も必要ですし、ときにはクライエントに立ち止まって考えてもらう必要があることもあります。そこで大切なのは「ともにある」姿勢です。他者を活かせる心理職になることが私の理想です。

心理学専攻課程カリキュラム（2023年度）

授業科目名		臨床心理士要件	公認心理師要件
基礎科目	臨床心理学特論Ⅰ	必修	
	臨床心理学特論Ⅱ	必修	
	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	必修	必修
	臨床心理面接特論Ⅱ	必修	
	臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	必修	必修
	臨床心理査定演習Ⅱ	必修	
研究方法科目	心理学統計法	選択Ａ群	
	心理学研究法特論Ⅰ	選択Ａ群	
	心理学研究法特論Ⅱ	選択Ａ群	

授業科目名		臨床心理士要件	公認心理師要件
展開科目	発達心理学特論	選択Ｂ群	
	言語発達とその支援	選択Ｂ群	
	臨床発達心理学特論	選択Ｂ群	
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	選択Ｃ群	必修
	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	選択Ｃ群	必修
	保健医療分野に関する理論と支援の展開	選択Ｄ群	必修
	福祉分野に関する理論と支援の展開	選択Ｄ群	必修
	投映法特論	選択Ｅ群	
	心理療法特論	選択Ｅ群	
	教育分野に関する理論と支援の展開		必修
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開		必修
	心の健康教育に関する理論と実践		必修

授業科目名		臨床心理士要件	公認心理師要件
実習科目	臨床心理基礎実習Ⅰ	必修	
	臨床心理基礎実習Ⅱ	必修	
	臨床心理基礎実習Ⅲ	必修	
	臨床心理基礎実習Ⅳ	必修	
	心理実践実習Ⅰ	必修	必修
	心理実践実習Ⅱ	必修	必修
	心理実践実習Ⅲ		必修
	心理実践実習Ⅳ		必修
	臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅴ）	必修	必修
	臨床心理実習Ⅱ（心理実践実習Ⅵ）	必修	必修
	臨床心理実習Ⅲ	必修	
	臨床心理実習Ⅳ	必修	
研究指導演習科目	心理学研究指導演習	８単位必修	

淑徳大学大学院　総合福祉研究科について

総合福祉研究科長　米村 美奈 教授

淑徳大学大学院総合福祉研究科は、「社会福祉学専攻」と「心理学専攻」の２つの専攻となっています。社会福祉・心理臨床などさまざまな実践現場を担う専門職業人の養成、研究者・教育者の養成を目指しています。ぜひ、大学院で学び、研究を深めてみてはいかがでしょうか。

社会福祉学専攻

社会福祉学専攻では、４つのコースがあります。①ソーシャルワーク、②政策・経営、③保育・療育、④仏教福祉・国際福祉。幅広い福祉分野で研究できるカリキュラム編成となっておりますので、それぞれの研究分野で研究を深めていくことができます。

社会福祉学専攻主任
結城 康博 教授

相談支援業務を中心にソーシャルワーク研究の探求を目指します。高齢、医療、障害、精神障害、児童、社会的養護、生活困窮などの支援体制や相談援助をテーマに研究を深めていくことを目的としています。例えば、スーパービジョン理論を学びながら実践に活かす研究も可能です。**関連科目としては「ソーシャルワーク特論（ミクロ・メゾ・マクロ）」「スーパービジョン特論」「ソーシャルワーク実践学」などが設けられています。**

想定される学生像　相談援助職、ソーシャルワーカー、社会福祉協議会、福祉施設職員を目指す方・就いている方・退職した方

年金、医療、介護、子育て支援、生活困窮者対策といった社会保障・福祉政策は、超少子化高齢化社会にとって重要な政策テーマとなっています。本コースでは制度・政策に関する研究を深めていきます。また、福祉経営という領域も福祉施設運営管理、人事マネジメントといった視点で注目されています。このように政策・経営に関する事象を探究できるコースとなっています。**関連科目としては、「福祉医療政策特論」「法律学特論（社会福祉関連法）」「福祉経営学特論」などが該当します。**

想定される学生像　行政職、福祉経営者又は管理職を目指す方・就いている方・退職した方

臨床発達心理士資格の取得を目指します。また、保育・療育における専門職としての研究を深め、子どもの生活と遊びを豊かにするために必要な知識、技術、理論を探求していきます。そして、発達段階に応じた子どもの問題、保護者支援の研究も目指していきます。**関連科目としては、「臨床発達心理学特論」「療育実践実習Ⅰ～Ⅳ」「保育学特論」「子ども家庭福祉特論」「子育て・保育相談支援実践学」などが設けられています。**

想定される学生像　保育士、幼稚園教諭、特別支援学校教諭、障害児関連の専門職を目指す方・現在この分野で働いている方・退職した方

グローバル化の中で、例えば、外国人介護職員も増えております。そのため、国際福祉の研究領域が注目されています。また、淑徳大学は開学以来、大乗仏教の精神に基づき、社会福祉の増進と教育とによる人間開発、社会開発に貢献する人材の育成を目的としていますので、これら仏教理念に基づいた福祉研究をテーマとした探求を目指しております。本コースでは国際福祉、仏教福祉の視点で研究を深めていきます。**関連科目としては、「社会福祉学特論」「仏教社会福祉特論」「国際社会福祉特論」が該当します。**

想定される学生像　国際福祉関連の福祉専門職、仏教福祉関連の医療・福祉専門職を目指す方・この分野で務めている方・退職した方

心理学専攻主任
神 信人 教授

心理学専攻

心理学専攻は、心理的支援のための知識・技能を実践できる高度専門職の養成を行っています。国家資格である公認心理師と高度専門職の臨床心理士の養成課程があり、心理的問題の背景・展望に関するアセスメント力と、クライエントとともにあって確実に支え、地域との連携に活躍できる臨床能力を身につけられます。

心理学専攻の教育課程は、公認心理師と臨床心理士の２つの資格が取得できるように心理学科目、臨床心理学科目が幅広く配置されています。さらに、本学大学院教育の伝統である臨床発達系の科目も用意されています。

充実した実習教育も特徴です。実習内容は、学内実習、学内施設での実践実習、学外施設の見学実習、学外施設の実践実習等があり、実習科目は 12 科目配置されています。実習施設も多岐にわたります。学内施設としては心理臨床センター、発達臨床研究センターが、学外施設としては精神科病院、総合病院、県立教育相談機関、公立中学校、児童養護施設、乳児院、特別養護老人ホーム等があり、希望領域の実習先で臨床実践を学ぶことができます。

心理的援助の知識や技能は日々発展しています。専門職としてそれに対応できるように、研究実践教育も重視しています。心理学専攻には、量的研究を主たる研究法とする教員から、質的研究の高い専門性を持つ教員まで幅広くいます。自分のテーマに適した研究方法についてのアドバイスを、それを専門とする教員から受けることができます。

公認心理師
（国家資格）

臨床心理士
（民間資格）

心理学専攻カリキュラムの特徴

実習 12 科目

臨床心理基礎実習Ⅰ
臨床心理基礎実習Ⅱ
臨床心理基礎実習Ⅲ
臨床心理基礎実習Ⅳ
心理実践実習Ⅰ
心理実践実習Ⅱ
心理実践実習Ⅲ
心理実践実習Ⅳ
臨床心理実習Ⅰ
（心理実践実習Ⅴ）
臨床心理実習Ⅱ
（心理実践実習Ⅵ）
臨床心理実習Ⅲ
臨床心理実習Ⅳ

学内センター実習
（心理臨床・発達臨床）

学外実習

博士後期課程

博士後期課程おいては、社会福祉学と関連付けながら心理学、保健・看護学、社会学などいった隣接する学問領域を視野にいれながら高度な研究を目指します。高度な研究能力を備えた人材養成はもちろんのこと、より高度な臨床における専門職の育成を教育研究目標としています。そして、最終的には社会福祉学博士の学位取得を目指すこととしています。

主な博士後期課程科目

「社会福祉学原論」：　これまでの福祉学研究者の「福祉学」定義を確認しながら､「福祉学」とは何かを学んでいくことを目的とする。

「社会福祉研究方法」：　混合研究法を含む量的研究や質的研究の基本的な考え方や研究方法について理解することを目指し､履修者個々人の研究課題における研究を深めていく。

「社会福祉特別研究Ⅰ」：ソーシャルワーク（ミクロ・メゾ・マクロ）の介入レベルとそれに応じた保健・医療・福祉の関係性、連携について具体的な実践事例から理解を深める。

「社会福祉特別研究Ⅱ」：臨床心理学における研究知見，実践上の基本的視点を素材として提供し，対人援助実践について議論していくものである。

近年、博士号を取得した学位論文

三村千春「食の『制御』と『幸福感』に関する研究　―食におけるポジティブな側面に着目して―」（博士：社会福祉学）

論文博士を目指す研究生コース

淑徳大学大学院では、社会福祉学博士の学位を取得するルートとして課程博士と共に、論文博士というプロセスもあります。そこで論文博士の提出を支援する研究生コースを設けています。論文博士をめざすため、１年程度研究生として指導教授に指導を仰ぎながら研究を重ね論文博士を目指すものです。現職の大学教員、博士課程満期退学者などを対象に論文博士を目指す研究生コースです。

特 別 講 義

客員教授による「特別講義」

淑徳大学大学院では、年数回、客員教授による「特別講義」を開催し研究の幅を広げる環境を設けています。通常の授業とともに「特別講義」の受講によって、より一層の知識・技能の修得を目指すことができます。

蒲原　基道
元厚生労働省事務次官

東京大学法学部卒業後、旧厚生省に入省。在職中は厚生労働省社会援護局障害保健福祉部長、厚生労働省大臣官房長、老健局長、厚生労働省厚生労働事務次官を歴任。社会保障、地域共生社会などに精通。

金子　勝
慶応大学名誉教授
（専門：財政学）

制度経済学、財政学、地方財政論を専門とする経済学者。歴史的見地から社会保障、年金制度など負担と給付の分析。債権問題、企業改革、地方分権化など幅広い分野を研究。

淑徳大学大学院をサポートする研究センター

本学、千葉キャンパス内には教員や大学院生の研究をサポートする２つの「研究センター」が設置されています。福祉の研究は実践を伴うため、それぞれのセンターでは、相談・療育・カウンセリングを行っており、院生の研究には欠かせないものとなっています。

発達臨床研究センター

淑徳大学発達臨床研究センターは、発達に遅れや気がかりを示す幼児ならびに小学生を対象とした療育・相談機関です。淑徳大学の開学と同時にスタートした研究機関であり、1972 年から子どもの発達臨床にかかわる臨床理論・方法論・教材論の確立と発展に取り組んできました。実践は「感覚と運動の高次化理論」を柱に組み立てられ、知的発達や対人関係のつまずきに対してトータルな発達支援を目指すものとなっています。

大学院社会福祉学専攻における「療育実践実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」、心理学専攻における「心理実践実習Ⅰ・Ⅱ」では、当センターの臨床場面の陪席、観察が可能です。また専属スタッフの指導のもと担当ケースを持ち、アセスメントと見立て、臨床計画の立案と実施等、専門職に求められる高度な臨床技術を身につけることができます。実践だけではなく、ケースカンファレンスや主催セミナーを通して、幅広く発達臨床的視点での対象者理解を学ぶ機会もあります。

心理臨床センター

大学院附属の「心理臨床センター」（以下、センター）は、地域のメンタルヘルスへの貢献を目指す、公認心理師・臨床心理士課程の学内実習施設です。直接の申し込みだけでなく、地域の医療・教育機関等からの紹介も多くあり、千葉市からの委託を受けて、グリーフケアに関する支援も行っています。

センターでは外部からの心理的な問題に関する相談を受けており、資格を持ったスタッフと臨床心理学領域の大学院生および修了生がカウンセリングや心理検査の担当を行います。

大学院に進学後は、このセンターにおいて、心理専門職を目指したトレーニングを行い、クライエントさんとお会いすることになります。面接を担当する場合のスーパーヴィジョンやカンファレンスについてもセンターを通じて行います。大学院修了後は、研修生としてケースを担当することが可能です。

センターには大小さまざまな面接室、プレイルームが設置されており、心理検査や書籍等も充実しているため、授業や実習の合間に自分で検査等の練習を行うこともできます。

実習施設としてだけでなく、修了後の研修機関として、公開講座や事例検討会も開催しています。

千葉キャンパス内に設置される心理臨床センター

このページは主に社会福祉学専攻についての案内となっています。

出願 FAQ

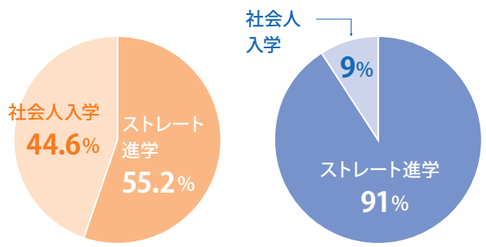
大学院について、頻繁にいただく質問・ご相談をまとめています。詳細については、本学事務局にお問い合わせください。
千葉キャンパス - 大学院担当）TEL.043-265-9803

Q 奨学金の手続きを入学前に行うことは可能ですか？

A 本学の奨学金制度（予定型給付奨学生）を除いて、入学してからの手続きになります。また、いずれにしても出願して試験を受けていただき、合格の可否ののち、入学手続きと入学金・前期授業料を含むその他の学費は納入していただきます。

Q 学部卒業後にすぐ進学する方と、卒業して数年以上経った方とどちらが多いですか？

A 社会福祉専攻では、学部を卒業して数年経った方も多数在籍します。心理学専攻は、学部を卒業後すぐに進学された方が中心です。



［社福］　［心理］

Q 現在、福祉の仕事に携わっていますが、大学は異分野の専攻でした。授業について行くことはできますか？

A 異分野の出身者も多く在籍しています。明確な目標を持って入学されれば、授業を理解することも可能です。また、同じキャンパス内で学部の授業を聴講することも可能です。

Q 専門学校、短期大学、３年制大学の卒業でも出願資格はありますか？

A 入試を受ける前の事前審査があります。書類審査などにより大学卒業と同等以上の学力がある認められれば、受験することも可能です。ぜひご相談ください。

Q 3年間履修コースは社会人または留学生のみ対象ですか？

A 3年間履修コースは、仕事に従事して時間の取りにくい社会人と、日本語で行う講義内容に十分対応できる履修数を考慮した留学生向けに設定しています。

※3年間履修コースは２年分の授業料を３年間で分割して納付いただきます。

Q 大学院生用に駐車場はありますか？

A 原則、大学院生用に駐車場の準備はありませんが、社会人の方におかれましては勤務の関係などもあると思われますので、臨機応変に対応いたします。
お気軽にご相談ください。

Q 仕事の都合で、時間通りに履修ができない場合は、調整が可能ですか？

A 社会人の大学院生に関しては、講義時間の変更など科目によっては担当教員とフレキシブルに対応しています。入学して履修後に教員にご相談ください。

Q 単位の互換制度はありますか？

A 他大学との単位互換制度はあります。また淑徳大学大学院科目等履修制度を利用して、入学前に単位取得ができる科目もあります。

Q 後期課程では、働きながら通学することは可能ですか？

A 可能です。リアル対面講義の他にオンライン講義も充実しています。オンラインの環境がある方は、講義中のディスカッションに参加できれば、いくつかの授業では対応が可能です。そのため、多くの社会人も在籍しています。

Q 入試日程、入試科目などについて教えてください。

A 本学ホームページでご案内しています。裏に記載のQR コードで確認頂けます。

学費について：１年分の授業料（2023 年度入学生）

研究科・専攻		入学金	授業料	施設維持費	小計	その他※1	合計
社会福祉専攻 博士前期課程	本学卒業生	–	700,000	100,000	800,000	24,950	824,950
	他大学卒業生	200,000	700,000	100,000	800,000	59,950	1,059,950
心理学専攻 修士課程	本学卒業生	–	800,000	100,000	900,000	24,950	924,950
	他大学卒業生	200,000	800,000	100,000	900,000	59,950	1,159,950
社会福祉専攻 博士後期課程	本学卒業生	–	700,000	100,000	800,000	26,150	826,150
	他大学卒業生	200,000	700,000	100,000	800,000	61,150	1,061,150

※１　その他の項目は、傷害保険、協賛会入会費、協賛会年会費、同窓会入会金が含まれます。
※２　3年間履修コースは２年分の授業料を３年間で分割して納付いただきます。

奨学金について

奨学金制度（本学）

［入学後に募集］

■ **特別給付奨学金**
・授業料相当額の給付

■ **一般給付奨学金**
・授業料の 1/2 若しくは 1/4 給付

■ **留学生給付奨学金**
・給付額は、特別・一般給付奨学金と同額

■ **貸与奨学金**
・授業料の 1/2 を限度に貸与
（貸与奨学金は修了後、10 年間で償還・無利息）

■ **緊急貸付金制度**（短期の緊急事由：5 万円限度）

［入学前に募集・内定］

■ **予約型給付奨学生**
1. 博士前期・修士課程の入試・選考試験の受験者から 1 ～ 4 名（採用予定）
2. 給付額…授業料相当額又は 1/2 を原則として 2 年間給付

※対象者・選考方法等の詳細は、予約型給付奨学生募集要項による

奨学金・研究助成団体（外部資金）

■**日本学生支援機構奨学金**（第 1 種無利息･第 2 種有利子）
■**都道府県、区市町村、民間奨学団体等からの奨学金**
■**学術研究助成団体等からの研究費**
※奨学金や学術助成団体からの応募勧奨やその支援

学術研究活動の振興と助成

・学術研究活動の振興を企図し、学位（修士・博士）論文作成の支援「研究助成制度」の他、論文の投稿や発表（公開）支援に取り組んでいます。

研究助成制度（本学）

・院生研究費助成（博士後期課程の学生対象）
50 万円を上限（年額・在籍中 3 回）とする研究・調査経費補助
・学会発表の研究助成（前期・修士課程の学生対象）
10 万円を上限（年額）とする学会発表のための参加費・旅費の補助

学術成果の発表機会の提供、研究資料の充実・整備等

・研究科研究紀要、心理臨床研究、社会福祉研究所紀要など本学及び学外学会（学術研究団体）への論文投稿、発表会の開催
・研究資料の整備・充実（院生共同研究室への別置資料）
・共同研究室の情報・研究設備の整備、コピーカード配布など

SHUKUTOKU

淑徳大学 大学院 総合福祉研究科

〒 260-8701 千葉県千葉市中央区大巌寺町 200

https://www.shukutoku.ac.jp/academics/din-sougou/

◀ 試験日程に関する情報はこちら

千葉キャンパス アクセスマップ